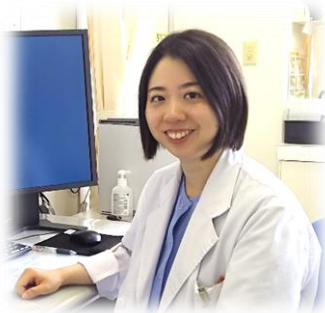


## 離島応援終了（おつかれさまでした！）



おおき りかこ  
大木 里花子  
湘南鎌倉総合病院  
期間：8月

Q 期間中に経験したこと  
A 限られた医療資源と人員の中でも工夫をして最高の医療を提供する努力の重要性を学びました

Q 今後について  
A 腎臓内科医として臨床経験を積みつつ研究にも挑戦したいです

Q 石垣島の思い出  
A 米原ビーチのサンゴ礁と熱帯魚達は本当に感動の一言です！ほぼ毎日のように石垣グルメを食べ歩きして充実した日々でした

## 思い出のアルバム



## 互助会主催 ボウリング大会 in あやぱにボウル

8月の互助会行事「ボウリング大会」職員と家族31名が参加して開催しました。結果は1位：岡さん（放射線科）2位：石垣さん（ME室）3位：福村さん（薬局）プービー賞：大木先生・・・でした！ハイタッチの連続で楽しくすごしました♪



## 看護部キャリアアップ研修で学んだこと（報告書より一部抜粋）



友寄看護部長と！

札幌南青洲病院  
看護師：篠木夏希さん  
期間：平成29年7月10日～14日



看護師として14年目を迎え、今まで様々な分野で働いてきました。近年、祖父母の介護や死をきっかけに自らの看護観を見つめ直す機会があり、また離島医療も学んでみたいと思い石垣島の研修にエントリーしました。私は幸いにも都会で生まれ育ったため、離島などの僻地医療の大変さを知りませんでした。しかし、徳洲会グループの原点は離島医療にあります。その原点のひとつを学ばせていただくことができました。

今回は外来、病棟、訪問看護、透析、通所リハビリに行かせていただき、どの部署でも大変親切に指導・説明してもらいました。様々な体験を通して感じた離島看護の現状と課題は「都会では当たり前のことが離島では大変な思いをして改善に取り組んでいる」ということです。島出身の看護師は数名しかおらず、応援や派遣で成り立っている現状がありました。そのため一人ひとりの負担は大きく、特に病棟では介護職員も少ないため介護業務も看護師が行っている現状。また、応援や派遣の入れ替えが多くなるということは必然的に看護ケアの統一が難しくなることも理解できました。

今後もこのような素晴らしい研修が継続し、多くのスタッフが参加することでグループとしても活性化することはもちろん個人個人の看護観が変わることが期待できます。私も自らの経験を職場スタッフに伝えていきたい思います。

石垣島徳洲会病院の皆様、本当にありがとうございました。

## MR I 装置（磁気共鳴画像診断装置）更新のお知らせ

～機種紹介～

シーメンスヘルスケア(株) 社製

MAGNETOM ESSENZA EVO (1.5T)

～更新作業期間（検査業務休止期間）～

平成29年8月19日（土）～平成29年10月9日（月）

平成29年10月10日（火）より  
本稼働の予定です





